

教育センターだより

平成30年度 第2号

黒部市教育センター

夏休みの振り返り

黒部市立桜井小学校 校長 大坂 正也

昨年に引き続き、今年の夏も猛暑日が続き、学校のプールは盛況でした。9月に入り、日差しも和らぎ、秋の訪れが実感できる気候となってきました。

今年の夏休みについて、3つのことを振り返ってみます。

まず一つ目は、1学期の終業式で児童と教職員に「夏休みだからこそできることにチャレンジしてほしい」と伝えました。教職員については、職員会議の前に報告会を開きました。いくつかの内容を紹介します。

- ・ 祖母や親に何かしてあげたいと思い、姉と相談して静岡県へ旅行した。
- ・ 初任で担任した県外の子供たち（今年20歳）と会うことができた。
- ・ 大学時代に誕生日プレゼントでいただいたプラモデルを夏休みに完成させた。
- ・ 東日本大学選手権大会においてソフトボール協会の記録員として参加した。
- ・ 親子で海外旅行を楽しんだ（「日本の1階→イタリアは0階」等紹介）。

約30分の報告会でしたが、職員間の心の距離が少しばかり縮まった気がしました。

二つ目に、東日本大震災から7年が経過しました。一度自分の目で見ておきたいと思い、夏休みを利用して松島、女川、大川小学校跡地、石巻へ行って来ました。3箇所は復興の兆しが見られたものの、大川小学校だけは当時の姿がそのまま残されていました。大川小学校は北上川の河口から約2.5kmに位置し、付近の鉄橋に大きな流木が留まり、逆流してきた4mの津波が一気に押し寄せてきたそうです。学校付近には、住宅や商店街があったそうですが、小学校の跡地以外は更地でした。



三つ目は、6月に交番襲撃事件があった近隣の小学校長から2か月を振り返り、話を聞く機会がありました。事件を溪流下りに例え、「事件前は静かに流れ、発生と同時に激流に入り、次々に迫る岩にぶつからないように次々と判断を下していく…」と表現されました。「事件・事故対応のマニュアルでは順を追って指示を出す、当時はいくつかの指示を同時にしなくてはならない。後戻りは不可。次の決断で修正」「拳銃を所持していることが事前に分かっている、同じ対応しかできなかった」等の話を聞き、緊迫感が伝わると同時に、同じ現場にいたような錯覚に陥りました。

つい先日も北海道で大地震が起きました。いつ自然災害や人災が起こるか分かりません。その校長から「大きな事件の時にこそ、普段見えない職員の本領が発揮される」と教えていただきました。より適切な対応にするためにも、普段の訓練の大切さ、教職員のチームワーク等、今まで以上に考える機会となりました。



「みんなが笑顔に」

宇奈月小学校 高澤 光

分からないことを周りの先生方に聞きながら、慣れない教員生活にも少しずつ慣れてきました。教壇に立ったら、目の前の子供たちを笑顔にしたいという思いで毎日の学校生活を送っています。しかし、学習指導や生徒指導では上手くいかないこともあり悩むこともあります。そのときにパワーをくれるのが子供たちの笑顔です。子供たちが学校が楽しいと思えるような学級経営ができるように、私自身も日々成長していきたいと思っています。

「子供たちとともに」

宇奈月中学校 早川 玲未

初めての赴任校ということで毎日が発見の連続で、子供たちの笑顔に支えられながら、充実した日々を送っています。生徒一人一人のモチベーションを生かしながら、毎日学校に行くことが楽しいと思えるような環境づくりをしていきたいと思っています。1学期は、毎日が慌ただしく、あっという間に過ぎていきました。2学期は、自分に余裕をもち、より生徒とのコミュニケーションを密にとれるよう、努めていきたいと思っています。

「2学期を迎えて」

生地小学校 山岡 李帆

1学期は「何が分からないかも分からない」という状態で、あっという間に過ぎていきました。毎日周りの先生方に助けていただき、乗り越えることができました。最初は緊張していた授業も、2年生の子供たちの反応を楽しみながら、子供の姿から自分の指導を振り返ることができるようになってきました。

2学期は「子供と向き合う」ことを大切にしていきたいと思っています。子供一人一人と向き合い、お互いが心から楽しいと思える日々を送っていききたいです。



2学期からの新しい英会話科の先生方を紹介します！

ヘレン・イエ Helen Yeap

Hi everyone! My name is Helen. I'm from a state in the U.S called New Mexico. I like trying different foods, traveling, video games, cooking, and tennis. I have been living in Kurobe for about one month now and I really like it here! I'm very excited to meet everyone and make new friends! Yoroshiku onegaishimasu.



みなさんこんにちは！ヘレンと言います。アメリカのニューメキシコ州から来ました。いろいろな新しい食べ物を食べることが好きです。また、旅行やビデオゲーム、テニス、そして料理をすることが好きです。黒部に来て1ヵ月が経ちましたが黒部のことが好きになりました。みなさんと会えるのを楽しみにしています。たくさん友達をつくりたいです！よろしくお願いします。



ENGLISH

ダニエル・ワイゼン Danielle Wisen

Hello! I'm from Pinehurst, North Carolina, USA. My hobbies are soccer and hiking. I like trying new things and meeting new people. If you see me walking around please say hello! I am happy that I work and live in a beautiful town like Kurobe. Yoroshiku onegaishimasu.



こんにちは！アメリカのノースカロライナ州パインハーストから来ました。趣味はサッカーとハイキングです。新しいことに挑戦したり、新しい人たちとお話ししたりするのが好きなので、私を見かけたらぜひ声をかけてください。黒部という美しい街で働くことができてうれしいです。よろしくお願いします。

ビクトリア・キングマン Victoria Kingman

Hi! I'm from Chicago, USA. I'm happy to be living and working in Kurobe now! I like running, reading books, and cooking. Please say hi if you see me! I'd love to hear about places I should visit and food I should try! I can't wait to meet everyone! Yoroshiku onegaishimasu!



こんにちは！アメリカのシカゴから来ました。黒部で働くことができ嬉し
しいです。ランニングや読書、料理をすることが好きです。もし私を見かけたらぜひ声をかけて
おすすめの場所や食べ物があれば教えてください！みなさんに会えることを楽しみにしていま
す。よろしくお願いします。

高階 真紀子先生

今年の4月から黒部市英会話講師になって、子供たちと楽しい時間を過ご
しています。子供たちが授業でのアクティビティを楽しんでいる姿を見たり、
手を挙げたことの無かった生徒が、手を挙げてくれたりしたとき、とても嬉
しい気持ちになります。これからも話をよく聞き、楽しく、元気よく、真剣
に英会話の授業に取り組んで、ステップアップして行って欲しいです。子供
たちの英語への興味がより高まるよう、今後も指導に取り組みたいです。よろしくお願いします。



若林 陽子先生

全児童が広々としたランチルームで礼儀正しく食事をとることや、ほぼ毎日パン給食だった私たちの時代と異なり米飯給食が基本であることに驚き感動しました。国際化に向け、黒部の子供たちが地元のよさを再発見し、一人一人が日本を代表する外交官であるという気持ちで外国の方に接することや外国語の学習を通じて自分自身や他の人をリスペクトする（敬意を持つ）姿勢などを学んでいけるように力を尽くしたいと思います。



西田 理絵子先生

私は、今まで子供英会話講師として働いてきましたが、この度初めて小学校で働かせていただくことになりました。初めてということで、今からドキドキワクワクしています。私は、英語が大好きでアメリカやカナダなど、いろいろな国に行ったことがあります。他の国の文化に触れることは、とても楽しいですし、また勉強にもなります。黒部の子供たちにその喜び・楽しさをたくさん伝えていくことができるよう、精一杯頑張ります。



平成30年度 英語サマーキャンプ

8月20日(月)から2泊3日で、黒部市ふれあい交流館『あこや〜の』にて英語サマーキャンプを行いました。小学5・6年生47名と中学1年生22名が参加しました。ALTや英会話講師が指導者となって活動を進めました。また、補助役として、桜井高校英会話部の生徒も参加してくれました。

昨年度よりも参加者が17名増え(小学生7名、中学生10名)、大変大人数での活動となりました。

初日のアイスブレイキングやスポーツタイムで少しずつ交流が深まり、キャンプファイヤーやティータイム(最終日の劇の準備)を通して参加した子供たちだけでなく、指導者や高校生とも笑顔でコミュニケーションをとることができるようになっていきました。

2日目のバーベキューやアトラクション、ワークショップを行う中で、日常的な英語の表現に触れると同時に、外国の様々な文化に触れる機会を得ることができました。

最終日のプレゼンテーション(劇の発表)では、各グループで考えたシナリオをもとに子供たちとALT、英会話講師の方々が協力し、アイデアあふれる英語劇を発表しました。



バーベキュー準備中



アトラクションでスイカ割り



プレゼンテーションの様子



最後の振り返り

子供たちの自立（自律）を促す4 A運動

～ 一日一日をしっかりと生きる子供の育成を目指して ～

黒部市立荻生小学校

「今から144年前に荻生小学校ができました。学校の誕生日に当たる9月20日を創校記念日としてお祝いし、学校の歴史と伝統について学びます。

1873年9月に学校ができたばかりのときは、『第六大学区 第九中学区 第四十三番小学校』というのが校名でした。その頃、校舎はなく、地域の方の家を借りて授業を始めました。

それから4年ほど経ち、『将就小学校』という校名になりました。『将就』というのは、中国の古い書物の中にある『日に就き、月に将む』という言葉からとられたものです。東階段の踊り場にある大きな額に書かれています。一日一日をしっかりと生きて立派に成長してほしい。そのために、学校でしっかりと学んでほしいと願って、『将就小学校』と名前を付けられました。そして、『荻生小学校』となって、それまでの歴史と伝統が受け継がれています。

みなさんも、一日一日をしっかりと生きて、この荻生小学校の伝統と歴史を受け継いでいきましょう。」
(創校記念式 校長先生の話より、一部抜粋)

本校では、創校の精神にあるように、一日一日をしっかりと生きる子供の育成を目指し、子供たちの生活作りの基礎として4 A運動（あいさつ、あつまり、あとしまつ、あんぜん）を推進しています。学校教育のあらゆる場面で子供たちの自立（自律）を促すため、日常生活で意識できるよう教師も日々児童への指導に取り組んでいます。

ここに4 A運動の概略と現状を紹介します。

【あいさつ】4月に計画委員会が中心となって「あいさつスローガン」「あいさつマスコット」を各学級から募集します。また、地域の方々と共にあいさつ運動をする「ふれあいあいさつ週間」を1学期と2学期の計2回行っています。計画委員会が当番を決めて行うあいさつ運動も行っています。また、昨年度よりあいさつだけでなく、ほかほか言葉の推進も行っています。しかし、保護者からのアンケート結果等をみると、学校内はともかく、家庭や地域ではあいさつや優しい言葉遣いがあまりできていないという声もいただいております。今後は、より具体的に子供たちのやる気を引き出すような取組を考えていきたいと思っています。



【あつまり】毎週金曜日の朝15分間、ショートの全校集会（フレンド集会）を行っています。この集会で、全校児童一人一人が必ず年1回以上、全校児童の前で自分で調べてきたことや自分の思いや考え等を発表します。そうすることにより、子供たち一人一人の表現力を高めることをねらいとしています。また、集会をはじめとして全校児童が集まる場面では、「おしゃべりをしない」「話をしている人の方を向いてしっかりと聞く」ことなど、人が集まるときのマナーも併せて指導しています。

【あとしまつ】学習規律の一つとして、学習用具の忘れ物をしないこと、授業の始まる前に学習用具の準備をすること、授業の終わりのあいさつの後、次の学習の準備をすること、自分（自分たち）の使ったものは責任をもって片付けることなど、当たり前のことですが、子供たち一人一人に徹底するよう日々指導をしています。

【あんぜん】「自分の身は自分で守る」児童の育成を目指して、安全な歩行や道路の横断の仕方、自転車の安全な乗車、避難訓練等、日々行っている指導や学校行事の他、昨年度は突発的な事件や不審者、大規模自然災害等を想定して、保護者による児童の引き渡し訓練を行いました。これらの訓練等を通して主体的に危険に対処できる子供の育成を目指しています。

これらの活動を基礎として、本校の子供たちが一日一日を大切に生活し、昨日より今日、今日より明日、よりよい人に成長していくことを願っています。



＜特色ある教育活動の紹介＞

地域に支えられている交通安全パレード

黒部市立若栗小学校

9月20日（木）、4・5・6年生が、若栗小学校から舌山駅前広場まで、約1kmの鼓笛隊パレードを行いました。このパレードには、黒部警察署、若栗地区の老人会、交通安全協会等の方々も参加し、地域に支えられている活動です。

沿道では、たくさん地域の方々に、温かい声援をいただきました。

「本当に、上手だね。たくさん練習したんでしょう。」

「毎年、運動会の鼓笛隊パレードと交通安全パレードを観覧するのを楽しみにしているよ。」

と長い伝統の中で、地域の方々の楽しみになっていることを実感しました。

パレードの歴史を紐解いてみると、想像以上に長い歴史を積み重ねていることが分かりました。この交通安全パレードを始めるきっかけとなったのは、

昭和48年の創校100周年を記念して若栗地区を鼓笛隊パレードしたことでした。このパレードが大変好評でした。3年後の昭和51年からは、交通安全週間に合わせ、交通安全パレードを行い、今年で43年目になります。



入学式のヘルメット贈呈式

また、本校では学校・家庭・地域が連携し、一体となって安心・安全な環境づくりにも取り組んでいます。特に、交通安全については、自治振興会や交通安全協会の協力の基、毎年入学式には、新1年生にヘルメット贈呈式を行っています。皆さんもご存じの通り、本校の児童は、登下校にヘルメットを着用しています。そして、このヘルメット着用や前述した交通安全パレードの実施等を通して、交通安全意識も高まっています。

自治振興会や交通安全協会、PTA交通当番等、地域の方々の協力のおかげで、本校では、9月末で無事故が4100日を数え、約11年間以上交通事故が発生していません。地域の方々からは、「雨の日は、用水側を通らない方がいいよ。」

「横断歩道の前で停車した際に、手を挙げて渡り、会釈をしてくれたのがうれしかった。」

等、ご意見・感想もいただいています。

これからも、地域の力を借りながら、児童が安心・安全に学校生活を送ることができるように指導していきます。



道路をパレード



ヘルメットをかぶっての登校

今年度の夏季研修会を終えて…



今年度は夏季休業中に、魚津地区教育センター協議会による講演会を含め、合計10回の研修が行われました。全ての研修会に出席された先生方を合わせると、小学校255名、中学校112名となりました。

また、中堅教員研修会や教科実技研修会では、教頭先生方や理科学研究員の先生方にご指導いただきました。ご協力ありがとうございました。

【特別支援教育研修会】

○7月27日（金）〈小学校12名、中学校7名参加〉

にいかわ総合支援学校より内橋順子先生と梅村佳絵先生を講師としてお招きし、「通常の学級における特別な支援のあり方」についてご講演いただきました。

日々の具体的な指導のあり方について、学級でのルールづくりや合理的配慮のあり方について学びました。また、子供が日々の学校生活においてどのような行き詰まり感や進路に対する不安感をもっているかを理解しておくことの重要性についても知ることができました。

後半はグループ毎に自分が困っている事例について話し合い、講師の先生方から直接助言をいただきました。困難な事例で悩んでおられた先生方にとっては、センター校であるにいかわ総合支援学校の先生方と意見交換をするよい機会となりました。

参加された先生方からは、「子供と教師との妥協点を見付け、取り組むことのできる内容を増やしていきたい」「学級のルールとして、サイレントモードやひそひそモードなどを2学期から参考にしてみたい」といった感想が聞かれました。



内橋順子先生と懇談



梅村佳絵先生と懇談

【教科実技研修会】

○7月31日（火）〈小学校23名、中学校2名参加〉

理科学研究委員の7名の先生方を指導者として、小学校の授業において、事故が心配される単元や指導が難しいと感じられる単元を選択し、実技講習を行いました。酷暑の続く日中の研修でしたが、会場としてお借りした宇奈月小学校で快適な環境の中で実習に取り組むことができました。

6年生「水溶液の性質とはたらき」、「太陽と月のかたち」「植物のからだのはたらき」4年生「水のすがたと温度」、の単元について実際に実験を行い、より安全で確実な方法について確認しました。

参加された先生方からは、「器具の持ち方や換気の必要性等、危険がないように行うことの大切さを改めて理解できた」「色シールやナイロン袋を使った実験装置等、準備がしやすいものが分かったので、今後利用していきたい」といった感想が聞かれました。



「水のすがたと温度」の実習

【i-check研修会】

○8月2日（木）〈小学校20名、中学校33名参加〉

東京家政大学 非常勤講師の山浦秀男先生をお招きし、黒部市で今年度から始めたi-checkに関する研修会を行いました。参加者が多く、大きな会場ということで真新しい桜井中学校の会議室をお借りしました。

これまでよりもたくさんの見方があるため、資料の読み取りから学級の実態に応じた今後の指導方針、個別対応の必要な子供たちの理解等について全体で確認しました。その後、各学校毎にグループで参加者相互に話し合いながら理解を深めるとともに、山浦先生から助言をいただきました。

参加された先生方からは「今までの感覚的な理解からデータをもとに分析し、どのように学級経営に生かしていくのかが明確になった」「指導案を作る際にも今回の結果を取り入れたい」といった感想が聞かれました。



散布図を見ながら助言

【中堅教員研修会】

○8月3日（金）〈小学校6名、中学校6名参加〉

今年度の研修担当として、たかせ小学校の金三津校長よりご挨拶をいただき、研修をスタートしました。また、市内の教頭先生方3名を相談役としてお迎えし研修会を行いました。研修対象の先生方を昨年度と今年度の2年間で分けたため、参加者は12名と少なくなりましたが、先生方同士や教頭先生方との意見交換の時間も多く、充実した時間となりました。

校内の事故対応や校内研修のリードなど、自分自身がリーダーとして実践する場を経験することができました。

参加された先生方からは「危機管理の対応について考えることで、自分が中心となって動く立場にあることを認識できた」「同年代の先生方との話し合いや校長先生、教頭先生からのお話からたくさんことを学ぶことができた。もっと中堅としての自覚をもっていきたい」といった感想が聞かれました。



危機対応についての話し合い

【英会話科指導者研修会】

○8月7日（火）、8月9日（木）〈小学校110名参加〉

富山大学教職大学院教授 岡崎浩幸先生を講師としてお迎えし、これからの外国語教育に求められる4技能の具体的な指導のあり方や児童理解をもとにした担任の関わり方についてご講演いただきました。2日間にわたり、市内の小学校の先生方ほぼ全員が受講し、今後の英会話科の授業では、ALTやJATとの調整を含め、どのような対応が必要なのかを考える機会となりました。

講演後は各学年でグループに分かれ、今年度の年間指導計画をもとに、デジタル教材を見ながら授業の略案を考えました。

参加された先生方からは「デジタル教材やLet's Tryをじっくりと見ることができた」「今後の活用について他校の先生方と話し合う機会が得られてよかった」「授業における聞く活動の大切さが改めて理解できた」「子供たちに、聞き取らせるときの具体的な手立てについて知ることができた」などの感想が聞かれました。



講演の様子

【情報教育実技研修会】

○8月8日（水）〈小学校12名、中学校6名参加〉

講師として富山市で子供プログラミング教室を開いておられる栗田裕士先生をお迎えし、桜井中学校の情報処理室にて、プログラミング的思考についての概要に関する講演と「スクラッチ」を使ったプログラミング体験を行いました。

ビジュアルプログラミングソフトの「スクラッチ」を使って様々な動作を変化させることができ、試行錯誤している間にプログラミング体験の時間が終了しました。

参加された先生方からは「トライ＆エラーが手早くできるので、問題解決の手順を体感していく上でよい教材だと感じた」などの感想が聞かれました。

経験が磨かれ、センスとなる

初めてプログラミングを行なって、ありとあらゆるケースを想定した仕組みづくりが行えるとしたら、その人は天才です

何度もやり直し、問題にぶつかり、解決する

そして、それが経験となり、製作する前から「このケースは予期せぬ事態になる恐れがあるから、そのパターンも考えて作る必要がある」といった思考が生まれる

講演資料 プログラミング的思考のベース

【資質向上研修会】

○8月10日（金）〈小学校8名、中学校12名参加〉

富山国際大学教授 瀬戸 健先生を講師としてお迎えし『「ミドルリーダーの特性とその成長」-教員等の資質向上のための指標を踏まえて-』と題してご講演いただきました。

今年度の「富山県公立学校の教員等の資質向上のための指標」についてもご説明いただき、向上期や充実・発展期等における様々な場面における役割について理解を深めることができました。また、参加された先生方が校内研修で助言する際のポイントや協議会における役割等についても具体例を示していただきました。

参加された先生方からは「子供たちや先生方にかける言葉一つ一つの大切さについて再認識した」「先生方の経験値に応じたやる気のスイッチが違うことを知り、今後気を付けていきたい」などの感想が聞かれました。



講演の様子

★原稿のご協力ありがとうございました。ご意見、ご質問等については教育センターまでお寄せください。